

新年のお慶びを申し上げます。



ち上げ
開設し
ました。
201

2012年は、国内外共に良いニュースが少なかつたように思いますが、ロンドンオリンピックで吉田沙保里選手の金3連覇や山中教授がノーベル賞を受賞されるなど明るいニュースもたくさんありました。

今年度は「ボランティアグループ槻輪」も設立して9年目に入ります。

「槻輪」のボランティア活動については安定というよりは、いつも会員が手を取り合って前向きに進むのみではないかと思っております。

会報誌の「V G槻輪だより」は、皆様から原稿を頂き、書記の方の献身的な働きによって毎月欠かさず発行され今回で第99号になりました。

2月1日発行予定の第一〇〇号は、記念号として編集委員の皆様へ企画と編集をお願いしています。楽しみにしています。

「V G槻輪」のホームページも会の設立時に立

2年度からは、V G槻輪の会員の趣味のページも順次増設し、投稿数も多くなり充実し、ボランティアグループのホームページとしては高く評価を受けています。これからもより充実させて行きま

ます。今後も公共の交通機関のみでは行けない場所にも足を伸ばしてみるなど広く計画して行きたいと思っております。更に、他の団体との共同開催も考えています。会員皆様のご意見・要望をどんどん提言して下さい。パソコン教室では、清水コミセンの受講者だけでも今までに120名を越えました。2013年4月から、又新しく受講者を受け入れ開講します。パソコンを学びたい友達などご紹介をお願いします。その他の活動についても従来通りに展開する予定です。

「念仏奉仕団に参加して」
西本願寺の清掃奉仕に参加しました。
1日目は御影堂の畳や床をお掃除したのです。拭いても拭いても持参した真つ新の雑巾は汚れません。(職員の方がお掃除をされた後なので)
2日目、朝6時から阿弥陀堂で参加者全員讃仏偈を唱え、場所を移動し、御影堂でお剃刀を受けた後、庭のお掃除。
落葉の時期でもあり270人余りで一時間も箒を使うと、ゴミ袋が山のようになり、職員の方が「次回奉仕団の方に仕事を置いてあげてください」との事、仕方なく箒を片付けました。



るといふ事が多かったの
で、お掃除をするより疲
れるような気がします。
両日を終え皆様に迷惑を
掛けたかもしれませんが、
自覚なく過ごしました。
E・H

志明院を訪ねて

加茂川の源流にある志明院(しみょういん)は役の行者が草創し、弘法大師が再興したと伝えられる不動明王を祀る皇室勅願所として知られる霊峰である。

晩秋の一日、知人の案内で寺を訪ねた。深山幽谷といえる山深いところであるが、車だとすぐ下まで行くことが出来る。20段ほどの石段を登って入山料300円を払う。目の前に宿坊があり、すぐ左手の石段を上がったところに楼門がある。金剛力士は右運慶、左が堪慶の作といわれている。そこから苔むした急な石段が続く。中ほどに一筋の滝が落ちてくる。飛竜の滝といって滝ごりの行場になっており、弘法大師が「行」の際に、山の守護神が飛竜となって

この滝つぼに入ったことから飛竜権現の霊が祀られたという。飛竜権現は水を司る神である。再び石段に取り付き、必死に登る。山寺では石段に手すりがないので登山杖を用意して行つたが正解だった。ここは山岳修行の、行場ということでも「行」をされているという。(中略、全文は槻輪HPをご覧ください)
境内には樹齢百年という石楠花(しゃくなげ)の木があり初夏には3年に一度の「当たり年」があつて美しいそうだ。そのころ、「柴燈大護摩供」が行われ、おき火の上を素足で歩く「火渡り行」は誰でも体験できるそうである。

F・M



V G槻輪 新年会開催
1月16日(水) 12:15時
みんなで新年親睦会を楽しみましょう!
会員には別に詳細をお知らせします。

今の生活は正座するといふことが少なく、2日間、座

今年1月は、「マチャ・テラス」の岩崎さんに高槻の町屋を紹介して頂き、説明と見学を予定してい

「わがまち紹介」は、私達が住んでいる、まち、を訪問し関係者のお話をお聞きし、会報やホームページで広く紹介してまいります。今年度は訪問した町の食を少し考えようとして取り組み、豆腐の「伏見屋」、鯉料理の「原養魚場」、庭園の中のレストラン「緑の館」、薬膳の「健康道場」等紹介を受けながら昼食会を楽しんでいます。